

# 農芸同窓会会報

編集・発行  
三重県立四日市農芸高校  
同窓会事務局  
〒510-0874  
四日市市河原田町2847  
TEL 059-345-5021  
FAX 059-345-6996

## 就任ご挨拶

同窓会会長 別府 銀孝  
(高校第八回・昭和三十一年卒)



会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のことと心よりお喜び申し上げます。平素は同窓会活動に格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼

申し上げます。さて、昨年十一月七日に開催されました第二回理事会並びに総会において、思いがけなく次期会長を仰せつかりました。体調・気力・年齢を考え、ワンポイント・リリーフ限定ということでお引受けしました。役員皆様方の

お力をお借りして取り組んでまいります。会員皆様の格別のご協力をお願い致します。大泉前会長さんには五年間にわたり会の発展のためにご尽力いただき本当にご苦労様でした。敬意と感謝を申し上げます。

今後は顧問として、種々ご指導いただきます。私共の母校も先生方の献身的なご努力と生徒諸君の頑張り、専

門教科学習及び部活動等において数々の大きな成果をあげてもらっています。本日に喜ばしい限りです。また、先般のリオ五輪七人制ラグビーで、日本代表として大活躍してくれました坂井克行選手(高校五十九回卒)の存在は、私共同窓生に大きな喜びと感動を与えてくれましたこと誇りに思います。今後一層のご活躍を皆さんと共に祈ります。

同窓会活動の大きな目標は、母校及び地域社会の発展に寄与することともに、会員相互の扶親睦を図ることにあります。年月を重ね、組織が膨れ上がれば膨れ上がるほど、会そのものの活動が難しくな

ります。今年度に入り三役会・理事会・総会で同窓会活動の活性化に向けての対応について検討いただきました。その『当面の課題と対応』は次のような事柄です。

- ①同窓会機関紙の会員ページの充実・拡大(幅広い会員からの投稿・各卒年次役員からの投稿依頼者の推薦)
- ②一般会員が参加できる総会の開催(農芸祭時の開催実現・将来的には独立した総会の開催)
- ③調査研究事業の実施(近隣校等における同窓会活動の実態調査及びその活用)
- ④事務局業務の負担軽減(会員データの維持・管理及び会報発送業務の業者委託の実現)

以上四つを取り上げ、現在既に取り組みを開始しております。残念ながら思うように進まない課題もあります。やはりよりよい成果を上げるには、会員皆さんの一層のご協力ご支援が重要なポイントになります。是非、多くの会員皆様のお力をお貸し下さい。また、別の角度からの改革についてのリクエストも提供いただきたいと思っております。

終わりに、母校四日市農芸高校の更なる発展と会員皆様のご健勝とご多幸をお祈りしてご挨拶と致します。

## 変化する時代を生き抜く 人材の育成を目指して

校長 田牧 明浩



年の瀬も迫り、何かとあわただしい季節となりましたが、同窓会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育活動に対し心からのご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。今年、「伊勢志摩サ

ミット」「リオオリンピック」と大きな行事が続きましたが、どちらも農芸高校には、関係の深い出来事となりました。「伊勢志摩サミット」では、本校の生徒が鈴木知事や桑名市伊藤市長におもてなしの寄せ植えのプランターを進呈し、テレビや新聞で報道されました。また、各国の首脳夫人を招いた食事会の料理には農芸高校の味噌が使われ、高い評価を受けました。

「リオオリンピック」では、本校卒業生の坂井克行さんが、7人制ラグビー日本代表として大活躍し、4位入賞というすばらしい結果を残してくれました。農芸生も、先輩の活躍に負けじと様々な分野で活躍しています。

最近の特徴としては、生徒の活躍が特定の活動やクラブにとどまらず、広い分野での活躍となっていることが挙げられます。農業学科においては、「フラーワーアレンジメントコンテスト」全国大会で、文部科学大臣賞を受賞するという快挙を成し遂げました。また、「技能五輪大会(造園)」全国大会取組賞入

賞、そして、「うまいもん甲子園」では食品科学コースの生徒が考案した「三美都(さみつとサンド)」が東海北陸地区で最優秀となり、全国大会出場を果たしています。このように全国大会を舞台とした活躍が増えてきています。

家庭学科では、きもの作品コンテストでの厚生労働省職業能力開発局長賞、家庭クラブ三重県研究発表大会では最優秀賞を受賞しました。また、企業と連携したお弁当の開発にも取り組んでいます。文化部活動におきましても、放送部が全国大会出場常連校となっており、演劇部も念願の三重県最優秀賞を受

賞し、中部日本大会出場の切符を手に入れました。また、吹奏楽部は学校行事や式典をはじめ地域のイベントなどで演奏し、本校になくてはならない存在となっています。そして、茶道部、華道部をはじめとした他の文化部も地域と連携した幅広い活動をしています。

運動部においては、ゴルフ部が全国大会出場、柔道女子、女子山岳部が東海大会出場、男子バスケット部が三重県ベスト4に輝きました。また、クラブとしては学校には無い競技ですが、水泳で三重県代表として東海大会に出場する選手もいます。十一月に行われた農

芸祭は、天候にも恵まれ、同窓生を始めとして多くの方に来校していただくことができました。さらに、農産物の販売においては、同窓生の方々に大変お世話になりました。改めてお礼申し上げます。結びに、これまで培われてきました農芸高校の歴史と伝統に敬意を払うとともに深く感謝申し上げます。今後とも、社会に信頼される学校づくりと、変化する時代をたくましく生き抜く人材の育成に努めてまいりますので、同窓会員の皆様のご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。



第68回農芸祭 (吹奏楽部演奏と多くの来場者)



H.28年度同窓会総会 (10年ぶり農芸祭で開催)



# 進路指導部より

進路指導主事 野田 学

同窓会員の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。昨年度(平成27年度)卒業生の進路状況について簡単にご報告申し上げます。就職斡旋の職業別では生産工程・労務の職業に62(前年74)名、サービスの職業に31(同31)名、販売の職業に14(同17)名、事務的職業に7(同5)名、農業など専門の職業に4(同4)名でした。その他、自営や公務員なども含めて、例年よりやや減って生徒の約54(同57)%にあたる128(同135)名が就職しました。求人数の増加にも助けられ、また同窓会員の皆様のお力添えもあり昨年度におきましても、就職希望者の全員を内定させることができました。改めたことに対し、改めて御礼申し上げます。また進学では四年制大学に10(同18)名、短期大学に21(同21)名、専門学校等は増加し75(同57)名という結果でした。特に昨年度は合格者の出なかった三重大学へ2名の合格者を出すことができました。今年度におきましては530(同637)名の求人数(10月末)をいただきました。これは

昨年度の求人数よりは減少してはいますが、生徒全員の内定には十分な求人であったと思えます。お陰様で就職希望者全員の内定に目途が立っております。ただし、男子の就職希望者が26名しかおらず、多くの事業所様にご迷惑をおかけしました。一方で女子の求人開拓に向けての課題も明らかになりました。募集の職種は介護やサービス、運輸、土木建設などが多く、またかつての指定校制の求人はほとんどなく、昨年と同様に他校との競争求人が多くなつたため、生徒にはしっかりとした準備を求めています。進学においては四年制大学への進学希望者が大幅に増加しました。高校で学んだ専門性をさらに深めるような農学系・保育系・栄養系・環境系へ、また部活動の実績を生かしたスポーツ推薦などで進学を予定しています。最後に、2年生のインターンシップは今年も1月末に実施されます。同窓会員の皆様にはどうか生徒の進路保障に向けたご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

**祝 リオデジャネイロオリンピック**  
**【7人制ラグビー 4位】**  
**ラグビー部OB 坂井克行さん**  
 (高校第59回・平成19年卒)(豊田自動織機)  
**～夢と感動をありがとう～**

## 事務局からのお知らせ

### ◆平成28年度同窓会役員(三役)紹介◆ (任期：H.28.29年度)

役員名	卒年回	氏名
顧問	S.20 河 16	服部 忠行
顧問	S.28 高 5	大泉 源之
会長	S.31 高 8	別府 銀孝
副会長	S.22 河 18	朝熊 英文
副会長	S.33 高 10	大橋 徳紀
副会長	S.35 高 12	市川 義高
監事	S.37 高 14	服部 武
監事	S.42 高 19	橋爪 斉昭

### ◆会員、旧職員の皆様へご連絡とお願い◆

- ☆改名、転居などにより、氏名・住所・連絡先等が変更になりましたら、同窓会事務局までご連絡下さい。お預かりする個人情報、厳正に管理を行い会報発送等に使用いたします。ご協力をお願い致します。
- ☆今年度より、セキュリティ強化のため、同窓会会員データの管理及び会報発送業務を業者委託致しました。今後、学年・クラス会等で名簿データの閲覧が必要な場合は、1回 3,000円(税抜)の利用料が必要となります。ご理解をいただきますようお願い申し上げます。
- ☆同窓会又は同窓会事務局の名を騙って、電話等により会員の情報を聞き出そうとする事案が発生しております。同窓会からの電話調査や聞き取りは、一切致しておりませんのでご注意ください。

### ◆会員のみならず会報の原稿を募集しております◆

同窓生の皆様より、会報原稿をお寄せ頂いております。次号会報、原稿も募集しております。会員唯一の情報機関誌へ会員みなさまの「高校時代の思い出、近況報告、写真」等をぜひお寄せ下さい。(次号会報の原稿締切は、平成29年9月末日です。ぜひ事務局まで。)

### ◆平成29年度 同窓会総会のご案内◆

来年度、同窓会総会を 農芸祭一般公開日(11月)に予定しております。同窓生皆様のご参加をお待ちしております。

四日市農芸高校は、ISO14001認証取得校です。  
 全校挙げて、環境活動・環境教育に取り組んでおります。

**三重県立四日市農芸高等学校 同窓会事務局**  
 〒510-0874 四日市市河原田町2847  
 TEL 059-345-5021(代)  
 FAX 059-345-6996

## 学習面での取り組みや生徒たちの活躍から

### 【農業学科】

- <平成28年度 全国産業教育フェア いしかわ大会>  
 全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト 金賞  
 文部科学大臣賞 3年 園芸デザインコース 谷崎好奈美
- <平成28年度 農業クラブ意見発表 東海ブロック大会>  
 優秀賞(分野I類) 3年 門脇 拓矢  
 「カドワキ牛物語 ～真の一貫経営を目指して～」
- <平成28年度 第5回ご当地!絶品うまいもん甲子園選抜大会 東海北陸大会> 優勝  
 食品科学コース 3年 川口 舞、山口沙弥、井原美春「三美都さんど」(全国大会出場)



- <平成28年度 第54回 技能五輪 全国大会> 全国ベスト8  
 造園職種 敢闘賞 3年 造園技術コース 柳川 慧悟、藤本 モナ
- <平成28年度 第44回毎日農業記録賞(毎日新聞社主催、農林水産省他後援、JA全中など協賛)>  
 高校生部門 優良賞 3年 川口 舞
- <平成28年度 第67回日本学校農業クラブ全国大会 大阪大会>  
 農業鑑定競技 優秀賞(区分：農業)2年 中筋 理緒  
 (区分：園芸)2年 相良 怜奈  
 (区分：造園)3年 渡邊 桃加  
 2年 内田 早苗

### 【家庭学科】

- <平成28年度 第27回きもの作品コンテスト>  
 優秀賞(厚生労働省職業能力開発局長賞)  
 3年 服飾経営コース 三角 滯 「レトロ小町」
- <平成28年度 三重県家庭クラブ連盟 研究発表大会>  
 最優秀賞 3年 製菓衛生コース 直江 莉奈  
 「クラクラ貧血から妹を救え!  
 ～家族で学ぶ、貧血予防の食生活～」
- <平成28年度 文部科学省後援  
 毛糸編物・レース編物技能検定試験>  
 成績優秀合格者 努力賞 4級 2年 諸岡 美有、須藤 唯菜、長谷 美旺



## 最近の部活動等におけるおもな実績

- <平成28年度 三重県高校総合体育大会>  
 2位 柔道女子 体重別 2年 伊藤 はるな (東海総体出場)  
 2位 山岳部 女子団体 (東海総体出場)  
 3位 水泳競技 女子 400m個人メドレー 1年 柏木 咲穂 (東海大会出場)
- <第63回 NHK杯 全国高校放送コンテスト 三重県大会>  
 最優秀賞 朗読部門 3年 平川 恭介 (全国大会出場)  
 優秀賞 テレビドキュメント部門 「父から子へ ～牛と歩む～」(全国大会出場)  
 奨励賞 アナウンス部門 3年 松橋 美佐登(全国大会出場)
- <第61回三重県高等学校演劇大会 県大会>  
 最優秀賞・中日賞 演劇部(中部日本大会出場)
- <平成28年度 全国高等学校ゴルフ選手権 県予選>  
 優勝 3年 名和 良枝(中部大会出場)
- <平成28年度 全国高等学校ゴルフ選手権 中部大会>  
 第6位 3年 名和 良枝(全国大会出場)
- <平成28年度 三重県空手道選手権 県大会>  
 個人形 第3位 1年 塩野 雄大(東海大会出場)









# 随想

大野 友通

(高校第二回・昭和二十四年卒)

私が入学したのは昭和二十年四月で太平洋戦争の末期、当時桑名に住んでいて汽車通学をしていました。当時は男性ばかりで、毎日、終日実習のみで机に座る事はなく、人手不足のため校外の農家へ応援に出掛けたり、四日市の肥料工場へ動員されたりしました。特に動員先の工場で、連合国の捕虜の人達と共に仕事をした事は今も忘れぬ事が出て来ません。朝夕小さな缶詰の缶に一杯のお粥、中は雑穀で栄養失調で痩せ衰へ、青い顔をして強制労働の毎日で全く気の毒な姿でした。

四日市が空襲で焼野原になった跡地を歩いて、近鉄を乗り継いで終電車で帰った事もあります。それから一ヶ月後に桑名も空襲に遭い、父の故郷の南島町へ家族共引揚げたので、以後三年七ヶ月寄宿舎生活を送る事になり、学制改革で農学校から高校へ転換期のため四年在学しました。

戦後の混乱期、特に食糧難、強烈なインフレの思い出は、後年同窓会のたびに語り草となっていました。

一杯の井に最初は米の中に、麦、さつま芋が入っていました。月日が経過するに従って逆転して、さつま芋の中に米と麦が粗く入っているみじめな食事、体の一番小さな私はともかく、普通の体

格以上の者は辛い生活であつたと思われるが、副食の方でも家畜の飼料の醤油粕の味噌汁、それでもまだましな方、調味料不足で桶町の海岸へ桶を積んだりヤカーを引張って塩水を汲みに行つたものです。

行きは明るいので言葉交わしながら行きましたが、帰りは日が暮れて真暗な田圃の中を物も言わずに、一時間以上だと思ひますが帰つた事が思い出されます。

終戦となり入学前から通年一年半経過して、久しぶりに荒廃した校舎に入り、破損した机、腰掛け等の埃を払い座つた感じ、何となく安心感を抱きました。

業式に、来賓の中に僧侶の方が袈裟を来て出席されていたので皆驚きました。終戦前に軍より派遣されて、軍事教練「戦争へ行く前の訓練」の指導教官の方でした。私達は直接指導を受けませんでした。上級生が校庭で小銃を担いで行進をしている姿を覚えています。

後日新聞でこの人の事を知り驚きました。京都の禪宗の一派の黄蘗宗の高僧となられ、日本の宗教界に貢献された方と知り二度びっくりしました。

河原に派遣された時は、予科練「少年兵」に志願する生徒をやめさせたり、当直室で軍服を法衣に着替え檀家廻り等を行い、当時としては命がけで校長先生がかなり心配したそうです。

平和主義者の面目躍如たるもので、立派な人格者に出会えた事に今も頭が下がります。

戦争で跡絶えていた修学旅行も復活しました。が、楽しい思い出はあまりなく、空襲で焼野原となつた東京の廃墟の姿、上野の地下道で、魚市場に並べられた鮪の様に並んで寝ているホームレスの人達の間をまたいで歩いた事で、先生の「踏むなよ」「踏むなよ」と叫んでおられた事が印象的です。

三棟あつた温室も二棟の破損、棟だけにマスカット葡萄が栽培され、収穫期になると盗難予防のため、寮生の友人と二人で温室の中へ蚊帳を吊り泊まりました。後日担当の先生が養蚕室の一室で寝泊まりしてみえたので、私と友人の二人を呼んで飯盒で白米を炊いて、玉子掛け御飯を食べさせてくれました。その美味しかった事、今でも忘れられません。食べ物の無い時代に、自分の分を減らして私達に與て戴き今もって感謝の念で一杯です。

最近母校を想い出す事に出会いました。全国高校野球三重大会に、一回戦で農芸高と南伊勢高が対戦しました。過去に南伊勢高の前身南高校のPTA会長を四年間やつていました。又、玄関前の庭園の設計指導は農芸高の野呂先生に御世話になつた関係もあつて、双方共勝つて欲しいが無理な話です。結果は農芸高の勝利に終わりましたが、その時テレビの画面に校歌が流れていましたが、我々の時は変わつていました。しかし不思議にも河原の校歌が脳裏に浮かんできました。「東海一碧明けゆく空の さやけき日影に 祖廟を仰ぐ 御榊の聖壇水澄む郷の 名に負う河原田我等の母校」

何と七十年前終戦となり、入学後僅か五ヶ月で皇国史観の流れがあるからと廃止になつた校歌が再び思い出された感動のひとつと感ずました。

いつの時代も「農の心」は大事にしたい

後藤 英俊

(高校第九回・昭和三十三年卒)  
(元 愛知県農業総合試験場長)



私が農芸高校に在学したのは戦後の混乱からようやく落ち着きを取り戻し、経済白書で「もはや戦後ではない」と言われた頃で、まだ農業は国の基とする思想が色濃く残っていました。私は農芸高校を卒業後、大に進み恩師の勧めもあつて愛知県庁に奉職、

それから約四十年間、わが国農業の先進地と言われた地で農政に携わってきました。丁度、経済の高度成長期と重なり、基本法農政の選択の拡大や構造政策の推進、野菜指定産地制度の普及と定着など農業農村が大きく変わろうとする時期で活気があり農政も刺激的な時代でした。

こうした中で小生もかわりを持つことになつた野菜の産地廃棄は心の痛む出来事として今なお鮮

## 思いつくままに

堀内 弘子

(高校第十二回・昭和三十五年卒)

母校の裏山のみかんが色づく頃には、毎年農芸のポスターが町中で目に止まり、忘れていた学生時代を思い浮かべるのは私だけでは無いでしょう。時の流れは止められなく、懐かしい豚舎や鶏舎、家庭科棟に向かう情緒ある坂道の風情と校舎は全て幻となり、各人の胸中のみ残る物となりました。でも私にはまだ母校に足を進める

チンスに恵まれ、二年前まで孫がお世話になり、世代を超えた母校への関わりを得ることが出来ました。家庭クラブの活躍状況の展示物を拝見できたり、孫の主張する「農業クラブ意見発表三重県大会」を傍聴に出向いたり今の学びを少しでも理解しようと興味を持ち続けています。高齢と共に学友が懐かしく、恩師の消息がふと気にな

明に思い出されます。昭和五十二年の秋は天候に恵まれて全国的に秋冬野菜が大豊作となり、市場価格は暴落して安値が続いたため、茨城県の「はくさい」と愛知県の「キャベツ」について産地廃棄が実施されることになりました。農家が手塩に掛けて育て、漸く収穫期を迎えたはくさいやキャベツをトラクターで踏みつぶすという事はどう言うことか、農業・農学を学び「ヒトが食べる物を粗末にするな、もつたない」と言つて育てられた者として、耐えられない心地でした。

こうした時、脳裏をよぎるのは唐の詩人李紳の「憫農の詩」を鋤て日午に当たる、汗は滴る禾下の土、誰か知らん盤中の殫、粒粒皆辛苦なるを

の事がありません。今回は、私の心に残る恩師の近況を紹介させて頂いただけましよう。

同窓会誌に語ることもご本人には承諾済みです。私と前後される同窓生の皆様は筋金入り、白黒明確な判断下し、妥協を許さぬ問答を求む家庭科担当、主に和裁、家庭クラブ顧問の牧野文子先生ですが現在百三歳のご高齢を見事に日々お過ごしです。先生は四日市農芸から津商業へ転勤になり定年を迎えられ、その後津商業高校へ講師として数年在籍後ご退職。私はご縁あり三十年前より交流あ

りました。女性の先輩として生き様、戦争体験者の真実、無駄は敵成りを学びました。本人唯一教師時の反省は、和裁の指導上技術や仕上がり求めて厳しく生徒に迫つた自分を、心底反省していると話されます。現況は美的で安価に販売する和洋服が手近に求められる時代が来るのに当時叱咤激励して生徒の皆に申し訳なかつた今では反省しきりの謝罪です。

現在は設備も整い素敵な環境で趣味や特技を楽しみながら、変わらぬ晴天下、直線縫い気分でお過ごしのお知らせ致します。

でした。また、在学当時の栗林校長が生徒集会でよく言われた校歌の一節「昔ローマの歌人が、すべてに勝つと称える額の汗の尊さを……」から説かれた「農の心」を思い出したりしました。

そして今、人びとの食生活は飽食と言われるほど豊かになり、大量の残飯等が放棄されていることから、改めて食育がクローズアップされています。農業の現場では高齢化の進行と就業者の減少で農地の荒廃が進み、TPP後の新時代を迎えようとしています。人間にとつて農業って何だったのか、農の心はどこへ行つてしまつたのか、改めて問われています。どんな時代になろうとも「農の心」は大事にしたい、そう思う今日この頃です。